※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2	年次	２～３
使用教科書	高校生の美術２（日文）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒が興味、関心や個性を生かして主体的に取り組み、美術のよさや美しさを美術Ⅰよりももう一段階深く味わえるように研究していきたいと思います。

2　学習の到達目標

課題作品制作の活動を通じて、美術にまつわる知識と技術を身につけ、自ら能動的に考え、判断する力をはぐくむことで自分なりの美意識を構築する。また、自身のこれからの生活の中で日常的に表現を行い、楽しんでいく姿勢を形作る。

① 発展的な作業や作品鑑賞を通じ技法や道具の使い方など応用的な技能を身につける。
② 自ら創意工夫をもって作品を形作り、基礎を基にした美術や美術文化に対する見方や感じ方をさらに深める。
③ クラスメイトの作品や有名作品を鑑賞し、教員との対話などを通して自分なりの美意識や理解をもって、能動的に課題に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・美術における伝統や文化を学び、基礎的な知識や技能を身につける。	・授業で学んだことを基に考え、作品、発表の場で表現する。 ・芸術の時間に学んだことを生活の中でどのように取り入れていくことができるのか、創意工夫している。	・美術の鑑賞などを通じ、芸術の美意識や理解を深め、感想、レポートをまとめることができる。 ・各課題に主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 5月	デッサン	図形を観察して画面に写し取る。	a:鉛筆を正しく使う。 b:比較して陰影を置けている。 c:積極的に作業を行う。	作品 提出	作品 提出	授業 態度
6月 7月 8月	お面制作	自由な発想で造形し、自分だけのお面を作る。	a:道具、素材を適切に使用する。 b:個性ある色彩で完成させる。 c:積極的に作業を行う。	作品 提出	作品 提出	授業 態度
9月 10月 11月	油画制作	油絵の具の表現に興味を持ち、色彩や構成、構図、色がどのような効果を生むかを考え工夫し、道具の正しい使い方を知る。	a:油絵道具を適切に使用する。 b:見栄えのする画面を自ら作る。 c:積極的に作業を行う。	作品 提出	作品 提出	授業 態度
12月 1月 2月	おはし制作・陶芸	木工作業、陶芸作業を通し、伝統的な道具の成り立ち、美しさを知る。	a:各段階の作業を丁寧に行う。 b:完成を意識しつつ作業する。 c:積極的に作業を行う。	作品 提出	作品 提出	授業 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度